

わたくしたち都留市民は

- \* 健康で明るいまちにいたします。
- \* 自然を愛し、美しいまちをつくります。
- \* 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- \* たのしく働き、活気ある産業のまちに育てます。
- \* たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくります。

4月の納税等

軽自動車税  
(全期)  
国民年金  
(4月分・前納)

都留市の人口

H13. 3. 1現在  
男 16,809  
女 17,365  
計 34,174  
世帯数 11,534

県内7市で初

平成13年3月4日「男女共同参画都市」を宣言



宣言文を読み上げる都留市長

男女共同参画都市宣言

わたしたちのまち都留市は、古くは城下町として栄え、先人からの教育・文化を尊重しながら、学園都市として発展してきました。女と男が、互いの人権を尊重できる「ひとにやさしいまち」を築くため、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

1. わたしたちは、男と女が互いの人権を尊重し、真の平等をはぐくむまちをつくります。
1. わたしたちは、たがいに協力し、社会のあらゆる分野で女と男がともに参画できるまちをつくります。
1. わたしたちは、男と女がともに個性や能力を発揮し、家事・育児・介護・仕事を分かち合う協働のまちをつくります。
1. わたしたちは、国際社会の一員として地球環境を守り、平和を愛する、美しいまちをつくります。

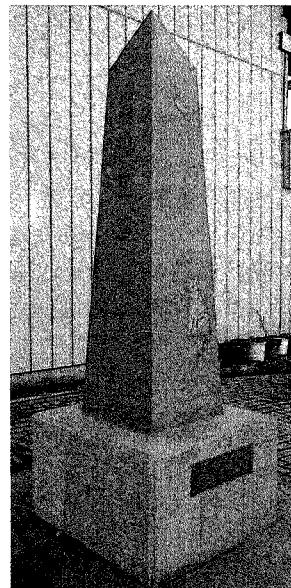
平成13年(2001年)3月4日  
山梨県都留市

本市は、男女共同参画社会づくりに向けたさらなる市民意識の改革と具体的実効性のある男女共同参画社会の実現に向けて、その機運を広く醸成することを目的に『男女共同参画都市宣言』をしました。

3月4日(日)、市文化ホールで行われた記念式典において、参加されました約400人の市民を前に、市長が「女と男が、互いの人権を尊重できる『ひとにやさしいまち』を築くため、ここに男女共同参画都市を宣言します」と力強く宣言文を読み上げました。次いで、国の推進本部から男女共同参画社会基本法制定までの経緯や骨子、男女共同参画基本計画の内容について報告がありました。

この後、「女性と仕事研究所」代表の金谷千恵子さんが「女と男が共に力を出し合う社会～21世紀あなたはどうか生きる?～」と題して基調講演を行いました。

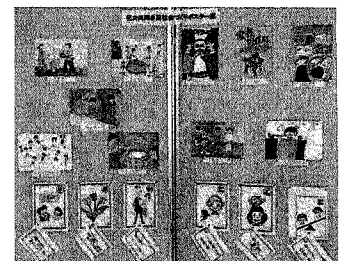
さらに、会場入り口では、男女共同参画社会に関するポスターや作文なども展示されました。また、宣言に先立って、国道139号線から市文化会館への入口歩道では、男女共同参画都市宣言記念モニュメントの除幕式も行われました。モニュメントは、都留文科大学の安宅正路教授、中村和雄教授による共同制作です。モニュメント本体は本小松(輝石安山岩)という石材で、オベリスクという形態でできています。装飾部分は銅製であり、子供たちにも親しみを持って見てもらえるようにと、大地を表すなだらかな曲線に猫や犬、鳥、窓を施し、人が生活する家や街を表しました。



男女共同参画都市宣言記念モニュメント



基調講演の様子



ポスターや作文の展示の様子

※《オベリスクとは》古代エジプトの記念碑。一つの巨大な石材で作られ、断面は方形、上方ほど細く、頂上だけピラミッド型。太陽神の神殿の前に建て、柱面には王の事跡などを記す銘文や図案の刻まれたものも多い。方尖(ほうせん)柱。方尖塔。

